

地震調査研究推進本部政策委員会
第12回成果を社会に活かす部会議事要旨

1. 日時 平成15年2月26日(水) 10時～12時

2. 場所 経済産業省別館11階 第1111会議室

3. 議題

- (1) 地震動予測地図の防災対策等への活用について
- (2) その他

4. 配布資料

- 資料 成12- (1) 地震調査研究推進本部政策委員会
第11回成果を社会に活かす部会議事要旨(案)
 - 資料 成12- (2) 地震動予測地図の防災対策等への活用に関するこれまでの
議論の概要
 - 資料 成12- (3) 防災科研・地震動予測地図工学利用検討委員会の活動状況
 - 資料 成12- (4) 成果を地域防災に活用するために
 - 資料 成12- (5) 地震活動の長期評価結果の有効活用について
 - 資料 成12- (6) 長期評価の信頼度について
 - 資料 成12- (7) 地震動予測地図ワークショップについて
- 参考 成12- (1) 政策委員会の活動状況
(地震調査研究推進本部第17回本部会議 資料17-(7))

5. 出席者

- | | | |
|-----|--------|--------------------------------------|
| 部会長 | 廣井 脩 | 東京大学社会情報研究所長 |
| 委員 | 青砥 謙一 | 兵庫県防災監 |
| | 阿部 勝征 | 東京大学地震研究所教授 |
| | 入倉 孝次郎 | 京都大学防災研究所長 |
| | 亀田 弘行 | 独立行政法人防災科学技術研究所地震防災フロンティア
研究センター長 |
| | 小出 治 | 東京大学大学院工学系研究科教授 |
| | 島崎 邦彦 | 東京大学地震研究所教授 |
| | 下田 隆二 | 東京工業大学フロンティア創造共同研究センター教授 |
| | 鈴木 康弘 | 愛知県立大学情報科学部助教授 |
| | 大門 文男 | 損害保険料率算出機構火災・地震保険部長 |
| | 高梨 成子 | (株)防災&情報研究所代表 |
| | 中林 一樹 | 東京都立大学大学院都市科学研究科教授 |
| | 布村 明彦 | 内閣府参事官(地震・火山対策担当) |

地震調査委員会

津村 建四朗 地震調査委員会委員長

関係行政機関

	藤田 萬豊	消防庁震災対策室長
事務局	磯谷 桂介	文部科学省研究開発局地震調査研究課長
	中川 勝登	文部科学省研究開発局地震調査研究課 地震調査研究企画官
	前田 憲二	文部科学省研究開発局地震調査研究課地震調査管理官
	前田 豊	文部科学省研究開発局地震調査研究課課長補佐
	田中 宏明	文部科学省研究開発局地震調査研究課地震調査官
	青木 重樹	文部科学省研究開発局地震調査研究課地震調査官
	梅田 裕介	文部科学省研究開発局地震調査研究課

6. 議事

- (1) 前回議事要旨が了承された。
- (2) 事務局から、資料 成12-(2)に基づき、地震動予測地図の防災対策等への活用に関するこれまでの議論の概要について説明がなされた。
- (3) 亀田委員から、資料 成12-(3)に基づき、防災科研・地震動予測地図工学利用検討委員会の活動状況について説明がなされた。
- (4) 青砥委員から、資料 成12-(4)に基づき、地震動予測地図等の成果の地域防災への活用について説明がなされた。
- (5) 消防庁震災対策室の藤田室長から、資料 成12-(5)に基づき、地震活動の長期評価の有効活用について説明がなされた。
- (6) 事務局の説明や委員等の提案を踏まえて、議論が行われた。
- (7) 地震調査委員会の津村委員長及び地震調査委員会事務局から、資料 成12-(6)に基づき、先の政策委員会でその考え方等が了承された「長期評価の信頼度」について、最終案及び今後の方針について説明がなされた。
- (8) 事務局から、資料 成12-(7)に基づき、地震動予測地図ワークショップについて説明がなされた。